

平成29年度 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団 事業計画

● 基本方針

本年度は、第4期の指定管理初年度となり、指定管理者としてより良い町民サービスが行える様、時代に則した新しい発想で事業を展開します。具体的には、新たに作成した事業計画書に沿った新規事業の実施と従来の事業の見直しを行い、町民ニーズを具現化して参ります。

新規のスポーツ事業としては、「認知症予防フリフリグッパ体操」、「OIZUMI スポーツキャラバン隊の新設」、文化事業では、「映画鑑賞講座」、「アカペラ体験講座」を実施します。また、従来の事業はアンケートやホームページなどから情報を収集し、内容を精査し、回を追う毎によりレベルアップできるような事業展開をいたします。

また、町体育協会、地元企業、町社会福祉協議会、群馬交響楽団、町地域活動連絡協議会等との共催・協力事業を積極的に実施し連携を図ります。

つぎに、施設管理に於いての新たな取り組みとしては、ピクトグラムの活用をはじめユニバーサルサービスの提供、ホームページのリニューアル及び広報誌「フレッシュおおいずみ」の刷新、スポーツ相談室の開設、運営アドバイザー会議をはじめ各種会議を実施いたします。

また、サービス業でもある当事業団は「顔の見えるハートフルな接遇」を引き続き重点的に取り組み、職員紹介ボード等により「笑顔、丁寧、誠実、利用者視点、迅速な対応」を接遇の基軸に、「来て良かった、また利用したい」とお客様が感じていただける様に努めます。

経費については、時間差出勤等による人件費の縮減、デマンドコントロールによる光熱水費の縮減等をサービスの低下が無いよう十分配慮しながら行います。

結びに、公益目的事業を主たる目的とする当事業団は、運営が法令や定款に基づき適切に行われるよう自らガバナンスを図り、コンプライアンスを徹底しながらお客様に『施設をご利用いただく』という気持ちを大切に、町民に愛される施設運営をめざします。

● 施設指定管理者としての具体的な新たな(主な)取り組み

利用者サービス向上

共通（町民体育館・文化むら）

- ・サービス介助士資格取得
- ・「窓口耳鼻マーク掲示」「ロッカーに点字シール」「ピクトグラムを活用」
- ・「接遇向上月間」／「マナーアップ月間」の実施
- ・利用者ニーズの収集⇒分析⇒対応⇒反映⇒データベース化

町民体育館

- ・「スポーツ指導員の紹介」／「スポーツイベント企画・運営へのアドバイス」
- ・町民体育館「マガジンコーナー」／「ビデオコーナー」の実施

文化むら

- ・「演出シーン見える化」／「ケータリングサービス情報」の提供

施設管理運営

共通（町民体育館・文化むら）

- ・時間差出勤による職員配置見直し
- ・運営アドバイザリー会議など7種の委員会・会議の実施
- ・安全研修など11種の研修の実施
- ・施設の中長期維持管理計画⇒データベース化
- ・個人情報保護体制の強化

● 事業計画

○スポーツ関係の特記事項

- ・OIZUMI スポーツキャラバン隊を組織し「出前講習会」、「スポーツ指導員紹介」、「学校の校庭整備や除草作業を無償で対応」などを実施する。
- ・町民野球場のラバーフェンス設置（3月完成予定）により、硬式野球の利用が増えることが予想され、より一層のグラウンド整備等を強化する。
- ・とね運動場のグラウンドゴルフ場、利用者のニーズに沿った形で、各ホールのポール位置や距離などをリニューアルする。

○文化関係の特記事項

- ・ホームページリニューアルにより、文化むらにて開催される各種イベント・講座等の告知、施設の利用に係る各種情報の提供、SNSやメールマガジンを活用したきめ細かな情報発信と情報収集を行う。（リニューアルはスポーツ関係の同様）
- ・ヒヤリハット事例の共有とデータベース化により、事故防止力の向上を図るなど「利用者の安全確保が何事にも優先する」「安全・安心を最優先」にした運営を行う。

1 地域スポーツの普及及び推進事業【自主事業（指定管理事業）・振興事業】

地域の誰もが、年齢や体力に応じたスポーツを気軽に行う事が出来、更にそのスポーツが地域に普及し、また参加することによって健康になれる様大会、講習会、教室等を開催する。

(1) 健康増進支援事業（大会1・教室6）

No	期 日	事 業 名	定員	内 容
1 自	5～ 10月	骨盤リンパストレッチ教室 (4回シリーズ)	50名	ストレッチ体操により身体の柔軟性を向上させながらリンパの流れ改善する。 子育て世代を対象にした回では託児サービスを設置。
2 自	6月	スポーツレクリエーション 体操教室	未 定	主に高齢者を対象に生活習慣病対策及び介護予防対策に効果的な健康体操。
3 振	9月	体験！親子でチアダンス！ (2回シリーズ)	40名	チアダンスの楽しさに触れながら、親子のコミュニケーションと運動能力向上を目的とした事業。
4 自	10月	もっと速く走れる！走り方教室 ー持久走大会に向けてー	40名	SUBARU 陸上競技部の指導のもと、小学生を対象に運動会や持久走大会などを目指して、走り方を学ぶ。
5 振	10月	ふれあいボールエクササイズ	未 定	地元銀行バレーボールチームの協力のもと、高齢者福祉施設に出向き、世代間交流と生活習慣病予防及び介護予防を目的とした事業。
6 自	11月	認知症予防フリフリグッパ―体操	30名	認知症予防の効果が認められている健康体操。
7 振	11月	第24回大泉健康ウォーク大会 共催：大泉ウォーキング協会	なし	健康増進を目的に大泉町の緑道を中心とした6km、10kmのコースを歩く。 ※町外へのウォーキング大会への参加も検討

(2) スポーツ普及事業（大会3・教室4）

No	期 日	事 業 名	定員等	内 容
1 振	9月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 大泉町発足 60 周年記念事業 第21回大泉町民スポーツ・レクリエーション祭 共催：大泉町教育委員会 大泉町体育協会	なし	本町で開催した第9回全国スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレーボール大会を記念とした軽スポーツ大会。町民の交流を図るとともに、生涯スポーツの定着を目的とする。
2 振	9月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 健康スポーツ吹矢教室 (5回)	30名	5～10m先の的を目がけて5本の矢を吹いて得点を競う。腹式、胸式両方を使う吹矢式呼吸法で、健康法としても有効である。
3 自	11月	大泉町バレーボール教室	100名	群馬銀行バレー部指導による、子供又はミセスを対象にしたバレーボール教室。子供を対象とした教室の場合は《キッズ夢プロジェクト》としての開催。
4 振	11月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 第8回大泉町健康スポーツ吹矢大会	80名	町内の愛好者を対象とした吹矢大会。
5 振	12月	大泉町発足 60 周年記念事業 第41回大泉町マラソン大会 共催：大泉町体育協会	なし	町体育協会との共催。1.5Km/3Km/5Kmの各コースを年齢・性別を分けて実施。

6 振	1月	《キッズ夢プロジェクト》 第16回大泉町少年野球教室	6チーム	富士重工業 硬式野球部の指導による、町内少年野球チームを対象とした野球クリニック。
7 自	3月	《キッズ夢プロジェクト》 タグラグビー教室	30名	パナソニックワイルドナイツ指導。ラグビーのルールを基本とした、幅広い年齢層が安全に楽しめるニュースポーツ。

(3) スポーツ観戦事業

No	期 日	事 業 名	定員	内 容
1 振	11月	Vチャレンジリーグ II女子バレーボール大会	1200名	町内施設を利用したプロスポーツ観戦を通じ、感動の場を提供
2 振	1月	大相撲初場所観戦ツアー	40名	町内では観る機会が無いプロスポーツ等をツアーとして提供

(4) その他事業

No	期 日	事 業 名	定員	内 容
1 振	6月	第29回群馬県市町村対抗ゴルフ選手権 大泉町予選会	無	予選会で3位以内の方を県市町村対抗ゴルフ選手権大会の大泉町代表選手候補として推薦する。
2 自	7月	救急救命講習会	20名	自動体外式除細動器（AED）を使用した救命処置の講習。

2 地域スポーツの情報等の収集及び提供事業【指定管理事業】

地域スポーツの活性化を目的とし、地域スポーツ大会の結果の掲載や大会の告知等を行う月刊広報紙「フレッシュおおいずみ(町内全世帯及び関係機関、団体に配布)」を発行する。本年度は、内容を精査、再検討し、リニューアルを行う。

3 地域スポーツ活動の支援事業【指定管理事業・振興事業】

- (1) 地域のスポーツ大会や教室の後援を行い、優勝メダルの提供や大会等の受付業務の代行、告知などを行う。
- (2) 地域スポーツ大会（町民体育祭・東毛地区中学校競技大会等）の開催準備、実施協力を行う。

	期 日	内 容
1	4月	大泉町少年野球大会
2	5月	東毛地区中学校競技大会
3	6月	高齢者・身障者スポーツ大会
4	6月	地域公民館70ピッチ・ソフトバレー大会
5	7月	河川清掃
6	7月	勤労者野球大会
7	10月	町民体育祭
8	12月	スポーツ少年団交流大会
	その他	防災訓練、秋季検閲、ポンプ操法、体育協会主催事業

- (3) 地域スポーツ大会等に必要物品（スポーツ用具、テント）の貸出を行う。

4 地域スポーツ団体の助成及び育成事業【振興事業】

- (1) 大会等出場援助基準により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図る。
- (2) スポーツ団体育成指定基準により助成金を支出し、スポーツの振興、選手の育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成する。
- (3) スポーツ団体強化指定基準により助成金を支出し、スポーツの向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図る。

5 地域スポーツ活動拠点の運営事業【指定管理事業・委託事業】

町有スポーツ施設指定管理等事業として、大泉町有料公園施設（運動施設）の管理業務（町民体育館、町民野球場、いずみサッカー場、ゲートボール場、南公園、御正作公園、スバル運動公園）と大泉町社会体育施設の管理業務（西体育館、とね運動場）を行い、また学校体育施設及び大泉町地域交流センターの一般開放に関する施設の貸出し及び照明使用料の収納事務を行う。

施設全般的に、更なる利用者満足度の向上と安全安心の為、巡回を強化し危険箇所や設備の不具合の早期発見を行う。

○利用者数目標

大泉町有料公園施設	210,043人
大泉町社会体育施設	15,958人
合計	226,001人

6 地域文化の創造及び発信事業及び 7 地域文化活動の協働及び創造性を育む機会の提供事業【自主事業（指定管理事業）・振興事業】

- ・創造的で質の高い芸術文化を提供するために、中小規模館の特性を生かした独自の自主製作型事業を行う。また、事業開催にあたり、さまざまな団体と協働することにより、地域住民の「創造」「感動」「ふれあい」の場になり得るよう芸術文化を発信する。
- ・地元アーティストや文化団体等と協力し、企画立案から実施までの協働事業を行う。また、創造体験講座型事業や参加・体験普及型事業を積極的に開催するなど、地域住民が芸術文化に親しむ機会を提供する事業を実施する。

(1) 鑑賞事業

NO.	期 日	事 業 名	内 容
1 自	5月 7月 10月 1月	大泉町発足 60 周年記念事業 文化むらジャズコンサートシリーズ 第8集 ロマンティック・ジャズ～ プレミアム・ナイツ 2017 シーズン1「春」 シーズン2「夏」 シーズン3「秋」 シーズン4「冬」	小ホールを会場に、スタンダードナンバーを中心とした選曲で人気のジャズ・コンサートシリーズ。大泉町在住のベーシスト・川島潤一氏のナビゲートで、女性やビギナーにも好評な事業。8年目を迎え、新メンバーを加えたプレミアム企画とする。特に今回は町 60 周年を記念した選曲にて開催する。

2 振	6月	文化むら大衆演劇	観光地などではお馴染みの大衆演劇を、文化むらにて堪能してもらう企画。平日昼間の公演で、主に高齢者をターゲットとして開催する。
3 自	7月	群馬交響楽団コンサート 共催：(公財)群馬交響楽団	群馬交響楽団による、スペシャル・コンサート。日本を代表するソリストを迎え、オーケストラ音楽の魅力をたっぷりと紹介する。
4 振	10月	大泉町発足60周年記念事業 おおいずみ出身アーティスト支援事業 「家族草子」～森浩美の作品による新しい朗読劇の世界～	本町出身の作詞家で作家の森浩美氏が、都内を中心に展開している、演劇的要素を多く取り入れたスタイルの朗読劇の公演を小ホールにて実施する。 町発足60周年記念として、入場料無料にて開催。
5 自	12月/3月	大泉町発足60周年記念事業 古澤巖ヴァイオリンの夜 in 文化むら 第26期シリーズ Vol. 1 / Vol. 2	平成3年から続く、ヴァイオリニスト古澤巖プロデュースによるコンサート・シリーズ。毎回多彩なゲストを迎え、バリエーションに富んだ演奏内容によりリピーターも多い。町発足60周年を記念した公演内容を予定。
6 自	未定	文化むらファミリー・コンサート 共催：大泉地域活動連絡協議会	町立各児童館の保護者組織である“母親クラブ”を母体とする“地域活動連絡協議会”との共催にて実施する、ファミリー向け事業。
7 自	未定	宝くじ文化公演 共催：(一財)自治総合センター、 大泉町教育委員会	宝くじの収益金を原資とした社会貢献活動の一環として「自治総合センター」が進める制度を活用して取り組む助成事業。外資導入による充実した内容の公演開催を目指す。

(2) 参加事業

NO.	期 日	事 業 名	内 容
1 自	5月	第10回文化むらピアノマラソン	文化むらが備える「スタインウェイ」「ベーゼンドルファー」「チェンバロ」を大ホールステージで演奏する機会を提供し、楽器と施設により一層親しんでもらう事を目的に開催する。
2 振	9月	第9回文化むらキッズ・ダンス・フェスタ	ヒップホップを中心とした高校生以下のダンスチームの発表と交流を目的として開催している事業。
3 振	9月	第7回文化むらダンス・フェスタ O v e r 1 8	高校生以上のダンスチームを対象に、発表と交流の場を提供し、活動の活性化を目指す。
4 自	11月	第23回 大泉町合唱祭	町内を拠点に活動する合唱サークル、高校・専修学校の学生、町内中学校の校内合唱コンクール最優秀クラス、小学生のグループなど幅広い年齢層による演奏会。
5 振	2月	大泉町発足60周年記念事業 第8回文化むらカラオケ選手権大会	一流の審査員を迎え、地域のカラオケ愛好家が文化むらの大ホールで、優勝自慢ののどを競う場を提供する。町発足60周年を記念し、特別賞を設ける。
6 自	未 定	第4回 大泉町アマチュア音楽祭 共催：大泉町/大泉町教育委員会	町内及び近郊にて活動中のアマチュア演奏家を募集し、合同の演奏会を行う。アマチュア音楽活動の活性化を目指す。

(3) 創造育成事業

NO.	期 日	事 業 名	内 容
1 自	4月～3月	大人のための初心者ヴァイオリン合奏教室（全44回）	高校生以上を対象とした初心者向けの教室。期間中、希望者にはヴァイオリンを無償貸与する。
2 自	5月	第9回群馬県東部地区吹奏楽連盟 ソロコンテスト 共催：群馬県東部地区吹奏楽連盟	県東部地区の学生や一般を対象に、ソロ演奏の技術を競いながら相互交流と吹奏楽の普及振興を図る。上位入賞者は県吹奏楽連盟主催の県大会に推薦される。
3 自	1月～2月	群響楽器セミナー 共催：（公財）群馬交響楽団	町内3中学校の吹奏楽部員を対象に、群馬交響楽団員が直接楽器演奏の指導を行うセミナー。群響側の経費負担により、地元は会場提供のみの負担で開催できる。
4 自	3月	邑楽館林吹奏楽連盟 第30回新人演奏会 共催：邑楽館林吹奏楽連盟	邑楽館林地区の中学・高校の吹奏楽部員1～2年生による合同の演奏会。相互の演奏に触れることにより、活動の一層の活性化を目指す。一般の吹奏楽団も参加して開催される。
5 自	未 定	邦楽コンサート	邦楽文化の振興を目的に、第一線で活動する邦楽演奏家の演奏による公演を企画する。地元邦楽サークルによる演奏も交え、活動の活性化を図る。
6 自	未 定	アカペラ体験講座	毎年開催している「合唱祭」への新規参加団体の育成を目標に取り組む。事業団が別途取り組む「文化団体育成指定制度」と併せ、効果的な団体育成を目指す。
7 自	未 定	映画鑑賞講座	映画の歴史について見識の深い講師を招き、映画史初期から近・現代の注目作品まで、マニアックな視点で名画鑑賞の楽しさをナビゲートする講座を開催する。

(4) アウトリーチ・その他事業

NO.	期 日	事 業 名	内 容
1 自	未定	訪問コンサート	文化むら以外の場所にアーティストを派遣し、広く地域住民に芸術活動を体験してもらう機会を提供する出張・訪問型事業。
2 自	未定	避難訓練コンサート	職員間で行う法定の消火・避難誘導訓練に加え、実際の本番公演において、多くの観客を安全に誘導できるよう実施する。

8 地域文化の情報等の収集及び提供事業【指定管理事業】

地域文化活動の活性化を目的とし、地域に於ける各種文化活動に関する情報の告知等を行う月刊広報紙「フレッシュおおいずみ（町内全世帯及び関係機関、団体に配布）」を発行する。特に本年度は紙面の内容を精査・再検討し、より効果的な情報発信を目指す。

9 地域文化活動の支援事業【指定管理事業・振興事業】

- (1) 地域の文化事業の後援を行い、優勝メダルの提供や事業の告知などを行う。
- (2) 地域の文化事業（文化協会主催事業・地域公民館連絡協議会主催事業・公民館利用サークル連絡協議会主催事業等）の開催協力（舞台照明・音響の製作やオペレート等）を行う。
- (3) 地域の文化活動に必要な各種物品（ポータブルアンプ、無線機 等）の貸出を行う。

1 0 地域文化団体の助成及び育成事業【振興事業】

- (1) 大会等出場援助要綱により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図る。
- (2) 文化団体育成指定要綱により助成金を支出し、文化の振興、育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成する。
- (3) 文化団体強化指定要綱により助成金を支出し、文化の向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図る。
- (4) 文化事業支援要綱により助成金を支出し、文化事業を町民を対象に実施する団体を支援する。

1 1 地域文化活動の拠点の運営事業【指定管理事業】

町有文化施設指定管理等事業として、大泉町文化むらの管理業務を行う。

- ・団体との連携や利用者サービスについて

施設をより多くの方々に利用していただくため、文化協会をはじめとする多くの各種団体と緊密な連携体制の構築を図る。

- ・利用者数目標

大泉町文化むら施設 213,097人

- ・施設管理運営について

利用者一人ひとりに対して「配慮が行き届く人員体制」を配置し、少ない人数で効果的かつ業務を断絶させない連携の確保に万全を期す。

- ・安全対策について

施設を安心安全に利用していただくため、一日に複数回の巡回を実施するなど防犯・防災・事故等の未然防止をはじめとする安全管理体制を確立する。

災害時の対応として、マニュアルに基づき行動を起こし、町防災計画への積極的な協力や正確な情報収集の提供を図るなど被害が最小限になるよう努める。

● 法人運営

【方針及び計画】

- ・スポーツ振興・文化振興の事業計画、予算の進捗管理、また、事業評価、決算の経営分析による適切な経営支援を行い、経営の安定化による公益法人としての自立性と総合力の向上を目指します。
- ・町民の皆さまから信頼される指定管理者として、コンプライアンスの強化と環境整備を図ります。具体的には、年2回のCSR研修の実施、また、職員の倫理行動基準のエシックスカードを配布し組織一丸となって取り組みます。
- ・安定した経営基盤作りの上で、人づくりは大切な要素です。大泉町のスポーツ、芸術・文化振興を担う専門組織としてまた、指定管理者として、町民の皆さまにご満足して、また、ご安心してご利用頂くために、職員一人ひとりが責任を持って業務に携えるよう人材育成に取り組みます。具体的には、「お客様ファースト」の接客、「快適で何度でも使いたい」施設運営、「魅力ある自主事業・振興事業」の実現に向け、OFF-JT、OJTを基軸として、さまざまな研修を実施し、持続的成長に向けた人材育成を進めています。また、同時に職員が「笑顔で働ける環境」づくりも大切

なテーマです。人事評価やメンタルヘルスなども用いながら、高いモチベーションで日常業務に当たれるように職場環境の整備も積極的に推進します。

- ・人事に関する計画については、業態毎の適正な職員数、人件費を適切に算出し管理して参ります。具体的には、主に昼夜ともに、窓口業務について、パートタイムとプロパー職員の事務内容を見直し、また、事業団独自の給与体制も見直します。
- ・個人情報や IT システム管理については、関連する規程類に基づき、安全な運用管理を行って参ります。具体的には、個人情報保護体制の整備と定期的な研修の実施。また、人的・物理的・技術的対策を講じて徹底した安全管理を遂行いたします。
- ・経理面では、新たな会計システムの枠組みを、組織全体に周知徹底し、職員全体の経理的基礎能力の底上げに取り組めます。公益法人として求められる経理的基礎の充実させ法人経営を支えます。

【理事会・評議員会の運営】

	期 日	事 業 名	内 容
1	5月8日 (月)	監査会	平成28年度監査
2	5月10日 (水)	定時理事会	平成28年度事業報告及び会計決算
3	5月25日 (木)	定時評議員会	平成28年度事業報告及び会計決算 理事の選任
4	5月25日 (木)	理事会	理事長(常務理事)の選定
5	9月6日 (水)	理事会	未 定
6	9月14日 (木)	評議員会	未 定
7	12月6日 (水)	理事会	未 定
8	12月14日 (木)	評議員会	未 定
9	2月14日 (水)	理事会	平成30年度事業計画及び会計予算
10	2月22日 (木)	評議員会	平成30年度事業計画及び会計予算

【研 修】

	研 修 名	予 定 月	内 容
1	接客研修	9月/3月	ビジネスマナー、クレーム対応など
2	軽スポーツ講習会	4月	新たな軽スポーツを体験し、サービス向上に生かす
3	安全研修	4月/6月/9月/2月	AED/CPR 研修、応急手当、消防・防災訓練
4	個人情報保護 情報セキュリティ研修	4月/10月	法令遵守を基本に個人情報取扱いの認識を高める
5	人権研修	10月	町ぐるみ人権教育推進大会
6	ユニバーサルサービス研修	3月	意識と知識を養い業務運営に生かす

7	PDCA 研修	3月	業務運営の中核となるPDCAサイクルを学ぶ
8	CSR 教育研修	4月/11月	コンプライアンスと環境啓発を学ぶ
9	自主事業研修 プログラム研修	6月/9月	事業担当者育成の専門セミナー
10	舞台技術/ 貸館業務研修	1月	舞台、管理担当者の専門セミナー
11	協働のまちづくり関 係研修	年1回 時期未定	大泉町主催の協働まちづくりセミナー
12	責任者研修 マネジメント研修	毎月	責任者としての資質向上、組織・戦略・財務管理な どのマネジメントを学ぶ

※その他の研修

総務関係(経理・労務・公社債等)、スポーツ関係(体育施設管理士、スポーツ指導等)、文化関係(公文協主催アートマネジメント、技術研修等)